

オオムラサキ

Sasakia charonda charonda
(Hewitson)

チョウ目
LEPIDOPTERA
タテハチョウ科
Nymphalidae

カテゴリー

大分県
環境庁 準

選定理由 河川改修，河川上流部の伐採とスギ・ヒノキ植林などによる生息環境の悪化で，個体数の減少が懸念される。

県内分布 国東半島部と県南沿岸地方を除く県内全域

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)

生息環境 渓谷や河畔林のエノキ，林内のエゾエノキを食草とし，冬季は食草の根元の落葉下で幼虫越冬する。

現 状 食草のエノキは雑木として伐採されることも多く，市街地周辺の里山では生息を確認することが少なくなっている。

備 考 日本の国蝶。

キマダラモドキ

Kirinia epaminondas (Staudinger)

チョウ目
LEPIDOPTERA
ジャノメチョウ科
Satyridae

カテゴリー

大分県
環境庁 準

選定理由 局地的な分布を示す種で，生息地が観光開発や里山環境の変化などで狭められ，個体数の減少傾向が懸念される。

県内分布 日田市，前津江村，中津江村，玖珠町，九重町，別府市，湯布院町，庄内町，大分市，久住町，竹田市，臼杵市

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
アムール，ウスリー 朝鮮半島 中国東北部

生息環境 山地のカシワ疎林から低山地のクヌギ・コナラ二次林。食草はイネ科，カヤツリグサ科の植物。

現 状 都市近郊の里山では，近年ほとんど生息が確認できず，山地でも個体数が減少している。

クロヒカゲモドキ

Lethe marginalis (Motschulsky)

チョウ目
LEPIDOPTERA
ジャノメチョウ科
Satyridae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁

選定理由 全国的に分布が局限される種で，県内でも個体数が少なく，スギ植林や開発などによる生息地の消滅で，絶滅の危険性が高い。

県内分布 前津江村，中津江村，九重町，湯布院町，庄内町

分布域 本州 四国 九州(熊本・大分)
アムール，ウスリー 朝鮮半島 中国

生息環境 山地のクヌギ，コナラなどの雑木林。下草のイネ科植物を食草とする。

現 状 県内に点在する生息地では，個体数が激減している。飯田高原はかつて多産地であったが，近年生息を確認することは極めて希。